

市の温室効果ガス排出量の現状と将来推計

市の温室効果ガス排出量（エネルギー起源）は、基準となる「2013（平成 25）年度は 902 千 t-CO₂」、直近の「2019（令和元）年度は 836 千 t-CO₂」となっています。

この排出量をもとに、将来的な排出量を現状趨勢（追加的な温暖化対策などを行わずに現在の傾向がそのまま続くと想定した場合）で推計すると、「2030（令和 12）年度は 880 千 t-CO₂」と予測されます。

国は、「産業・業務・家庭・運輸」の各部門に対して削減目標を設定しています。市の各部門の削減目標を国の削減目標に倣って設定すると、市の全体の削減率は **49%**（442 千 t-CO₂）となり、排出量を **460 千 t-CO₂ 以下**にすることが目標となります。

2030（令和 12）年度の排出量は 880 千 t-CO₂と予測されており、目標となる排出量は 460 千 t-CO₂のため、**420 千 t-CO₂**が削減量の目安となります。

	全国			江別市		
	2013年度実績	2030年度目標		2013年度実績	2030年度目標	
		削減量	削減率		削減量	削減率
①エネルギー起源CO ₂	1,133	512	45%	902	442	49%
・産業部門	463	174	38%	272	102	38%
・業務部門	238	122	51%	167	86	51%
・家庭部門	208	138	66%	295	196	66%
・運輸部門	224	78	35%	168	59	35%

百万t-CO₂ 百万t-CO₂ 千t-CO₂ 千t-CO₂

※四捨五入の関係で端数が合わない場合があります。

図 1：国・市の温室効果ガス排出量（エネルギー起源）の削減目標

出典：全国の削減目標「地球温暖化対策計画」（R3.10 環境省）

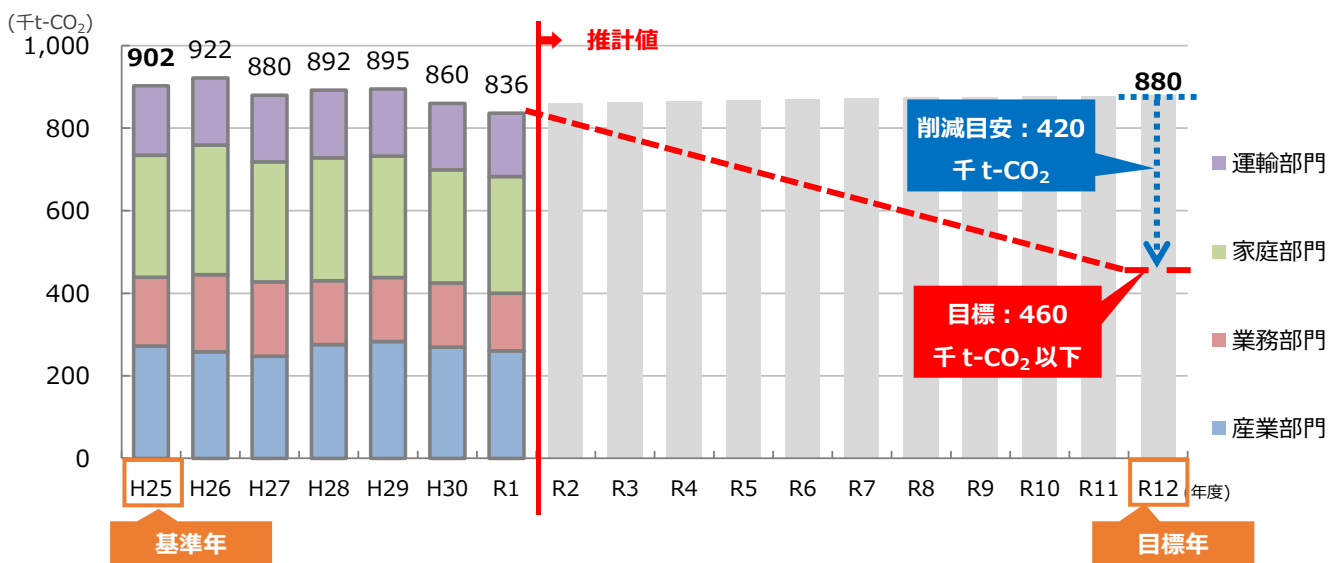


図 2：市の温室効果ガス排出量（エネルギー起源）の推移と将来推計

出典：実数「部門別 CO₂排出量の現況推計」（R4.4 環境省）